

ぶろぐらむ

I 身分・規範と都市 10:30~11:40

朝鮮後期女性詩人の特徴とその周辺環境
----- 山田恭子(近畿大学)
明清小説のなかの女性 ----- 仙石知子(二松学舎大学)
ディスカッサント 横山泰子(法政大学)

II 都市の可能性 12:45~14:30

訴えに行く女性たち—清代唱本の一側面—
----- 岩田和子(法政大学)
江戸へ奉公にゆく娘—「婦人亀遊」の戯作から—
----- 小林ふみ子(法政大学)
朝鮮古典小説『雲英伝』の宮女と漢城—欲望の都市ソウルを中心—
----- 高 永爛(全北大学校)
ディスカッサント 染谷智幸(茨城キリスト教大学)

III 女性が描く近代都市 14:45~15:55

清末民国初期台湾女性の都市—『楊水心日記』にみる—
----- 呉 翠華(元智大学)
百貨店文化と女性作家—森しげ、与謝野晶子の『三越』掲載作品を中心に—
----- 藤木直実(法政大学)
ディスカッサント 中丸宣明(法政大学)

総合コメントと討論 16:00~17:00

大木康(東京大学)×田中優子(法政大学)

2022年2月28日(月)

10:30~17:00

法政大学市ヶ谷キャンパス
外濠校舎S205教室

オンライン(Zoom)でもご参加いただけます。

※完全オンライン開催となった場合は事前にEメールでお知らせします。

しんぽうぶろぐらむ

東アジア近世・近代
都市空間のなかの女性

女性にとって都市とはどのような場所であったのか。

この問いを、ジェンダーがとりわけ色濃く反映していたと考えられる

東アジア近世・近代の文学から考えます。芸娼妓も含めた身分職分の問題、

都市と地方の差、都市ならではの体験には女性特有のものもあったことでしょう。

女性のごときは都市をどのように記述したのか、

また、女性は都市のなかでどのように描かれたのか。

この両面から、女性にとっての都市とは、という問題に迫ります。



参加無料・事前申込制

<https://forms.gle/riJhTc6wiUNwCJJt8>